

## 東紀州防災拠点施設整備について

### 1 事業の目的

阪神・淡路大震災のような広域的な災害が発生した場合、災害応急対策活動を迅速かつ的確に実施するために、広域的な活動拠点を平常時から確保しておく必要があることから、平成8年度に「三重県広域防災拠点施設基本構想」を策定し、県内5つのエリアごとに防災拠点を整備することとしています。

- ①北勢拠点（北勢地域北中部）
- ②中勢拠点（北勢地域南部～中勢地域北部）————— H13 整備完了
- ③伊勢志摩拠点（伊勢志摩地域北部～中南勢地域東部）
- ④伊賀拠点（伊賀地域）
- ⑤東紀州拠点（東紀州地域）————— H17 着手

### 2 事業の概要

#### (1) 東紀州防災拠点の機能

機 能		概 要
災害時	空輸機能	○被災地域外から被災地域内への救援物資及び要員の輸送、被災地域内から被災地域外への重症患者の搬送等のためのヘリポート
	物資集配機能	○物資の荷捌き・一時保管、駐車スペース（トラックターミナル等）
	応援要員等受入機能	○応援要員等を受け入れ、一時的な滞在のためのスペースを提供するとともに、被災地への搬送を支援する。
	情報通信機能	○災害対策活動の展開に必要な情報を集約・発信・共有化できるようにするための情報・通信設備（防災行政無線設備）
	連絡・調整・決定機能	○現地災害対策本部の運営に必要な施設・スペース等
平常時	保管機能	○応急復旧用資機材等を備蓄するための保管施設 ○近県との共同備蓄の拠点
	教育・訓練・啓発機能	○市町村や防災関係機関、自主防災組織等の訓練や研修 ○県民に対する防災知識の普及啓発活動等

※ 紀南中核的交流施設の事業者は、災害発生時には施設、スペース等を優先的に提供し、東紀州防災拠点施設の機能が発揮できるよう配慮すること。

#### (2) 東紀州防災拠点の整備場所

東紀州（紀南）防災拠点：紀南中核的交流施設整備地（金山<sup>ハ</sup>イロット）

（拠点：東紀州地域全体に対する物資・要員の受入れを担う。）

東紀州（紀北）防災拠点：旧尾鷲工業高校

（拠点：紀北地域に対する物資・要員の受入れを担う。）

#### (3) 東紀州（紀南）防災拠点施設整備スケジュール（案）

項 目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
測量・設計	—————→		
用地購入		→	
造成・調整池工事		—————→	
ヘリポート・倉庫建設工事			—————→